

1 基本情報

施設名称	大阪市旭区民センター
施設所管課・担当	旭区役所地域課（担当：泉田・富田）
条例上の設置目的	大阪市旭区民センターは、コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与することを目的とする。
業務の概要	（１）貸館業務 （２）施設総合管理業務 （３）地域のコミュニティ振興に寄与する事業（条例第３条に定める事業）
成果指標	利用率/利用者満足度
数値目標	50.0%/80%
指定管理者名	大阪教育文化振興財団・ATK朝日建物管理共同事業体 代表者 理事長 出海 健次
指定期間	令和３年４月１日～令和８年３月３１日
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用率	利用者満足度
数値目標	50.0%	80%以上
年度実績	47.4%	93.5%
達成率	94.8%	116.0%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	88,143	100,097	-11,954
稼働率	47.4%	44.6%	2.8%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	57,790,238	58,762,000	3,675,000	
	計画	54,115,238	54,307,000		
利用料金（使用料）収入	実績	16,676,080	18,117,280	492,080	
	計画	16,184,000	16,024,000		
自主事業収入	実績	9,293,000	9,817,090	7,243,000	
	計画	2,050,000	2,050,000		
その他収入	実績	0	82,200	0	
	計画	0	0		
合計	実績	83,759,318	86,778,570	11,410,080	
	計画	72,349,238	72,381,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	25,748,844	25,787,501	-1,251,156	
	計画	27,000,000	27,000,000		
物件費	実績	46,944,245	48,258,433	7,445,007	
	計画	39,499,238	39,531,000		
修繕費	実績	603,993	739,562	103,993	
	計画	500,000	500,000		
自主事業支出	実績	8,200,464	9,156,565	6,150,464	
	計画	2,050,000	2,050,000		
その他支出	実績	5,770,046	5,864,080	1,970,046	
	計画	3,800,000	3,800,000		
合計	実績	87,267,592	89,806,141	14,418,354	
	計画	72,849,238	72,881,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用率	94.8%	C	
利用者満足度	116.0%	A	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
施設管理について日常点検を適切に実施するとともに、予防保全型管理により中期的な維持管理コストの縮減に努めている。	B	施設の維持管理について、指定管理者構成員である朝日建物管理の専門技術者により計画的かつ迅速な対応が行われている。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	施設の管理運営に関しては、全般的に適切に行われている。特に施設の維持管理については指定管理者の専門技術者（朝日建物管理）により適切な対応がなされており、安全・快適な施設の整備に貢献している。
事業計画の実施状況	B	おおむね計画通り実施できている。
施設の有効利用	B	芸術創造館、旭図書館と共催で、25周年三館共同事業「舞台俳優による絵本の読み聞かせ」をさらに充実させ実施。また、「赤ちゃんの駅」に登録。旭区で増加する子育て世代へのアピールする。
社会的責任・市の施策との整合性	B	芸術創造館・旭図書館等と連携した避難誘導訓練の実施や、市の熱中症対策の取組等に協力している。

5 利用者ニーズ・満足度等

調査方法：施設利用者に対しアンケート用紙を配布。8月及び1月に実施。
回答数：371
質問項目:どの部屋を利用したか、利用満足度、職員対応、利用した理由、利用頻度
利用者に対し管理運営についてのアンケートを行った結果、利用満足度について、満足と回答した割合は64%、おおむね満足と回答した割合は30%であった。また、職員の対応については、良いと回答した割合が67%、おおむね良いと解答した割合は25%であった。利用した部屋については、集会室1～3が全体の53%、次いで小ホールが16%、大ホールが11%であった。利用頻度については、第1回目で月2回以上が51%、次いで初めてが16%、月1回が9%の回答があり、第2回目では無回答を除き、月1～10回が84%、年1～10回が8.12%、初めてが7.61%との結果となった。

6 外部専門家意見

・指定管理者の変更にあたって、昨年度強みだった施設管理の部分について後退する事のないよう心掛けられたい。
・稼働率はあがっているが、利用人数が減少、収入も減少しているのは、利用者の施設離れが危惧されるため、分析注意を行う事。
・団体の在り方も変化してきている。これからは団体に所属しないがつながりや活動の場を探している個人と個人をむすべる場としてのあり方として、プロジェクト型の事業など、方法を探って欲しい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	利用率の目標には至っていないが、徐々に向上はみられる。さらなる積極的な工夫と取組みを期待する。
市費の縮減	B	施設の維持管理については、専門技術者の的確・迅速な対応を行っているため、引続き同レベルの対応を保つべく務めること。
管理運営の履行状況	B	法令・規則に則った適切な運営がなされており、施設の有効利用等にも継続的に努めている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	以上の事から、おおむね本市の定める水準の効果が発揮されていると考える。